

臨床微生物学演習

《担当者名》 松尾淳司 山崎智拡

【概要】

現代社会の脅威となる感染症を克服するために、これまでに微生物学および臨床微生物学において様々な知識を習得し、さらに微生物学実習を通じて微生物の基本的な性状を自らの手で確認してきた。しかしながら、臨床現場において微生物感染症対策を実践していくうえでは、これまで学んだ知識をさらに有機的に連結していく必要がある。そこで本講義では、微生物学および臨床微生物学の境界を取り払い、様々な視点から微生物感染症を眺めることで、微生物について統合的に理解することを目的とする。

【学修目標】

- 1) 臨床検査に必要な知識と技術を習得するために、臨床微生物学について理解する。
- 2) 微生物の分類と形態を説明できる。
- 3) 細菌の染色法と培養法を説明できる。
- 4) 抗菌薬の種類と検査について説明できる。
- 5) 感染症の発生機序や関連法規について説明できる。
- 6) 細菌の種類とその特徴について説明できる。
- 7) ウイルスと真菌の概要を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	・講義概要 ・知識の確認	松尾淳司
2	微生物の種類と形態	・分類・形態・病原因子 教科書：p5-9	山崎智拡
3	染色法	・各種染色法の原理 教科書：p22-31、p329-336	松尾淳司
4	培養法	・培地の種類と特徴 教科書：p31-43、p337-343	山崎智拡
5	滅菌と消毒	・滅菌法 教科書：p52-59	松尾淳司
6	抗菌薬	・抗菌薬の種類 ・薬剤耐性菌 教科書：p60-71、p376-384	松尾淳司
7	感染症	・感染経路 ・感染症法 教科書：p80-106、p393-399	山崎智拡
8	グラム陽性球菌 グラム陰性球菌 グラム陽性桿菌	・スタフィロコッカス属 ・ストレプトコッカス属 ・エンテロコッカス属 ・ナイセリア属、モラクセラ属 ・バシラス属 ・リステリア属、コリネバクテリウム属 教科書：p109-128、p191-198	松尾淳司
9	グラム陰性桿菌1	・腸内細菌目 教科書：p129-150	山崎智拡
10	グラム陰性桿菌2	・ブドウ糖非発酵菌 教科書：p170-175	松尾淳司
11	グラム陰性桿菌3	・ビブリオ属、エロモナス属、ヘモフィルス属 ・ボルデテラ属、フランシセラ属 ・レジオネラ属、コクシエラ属 ・カンピロバクター属、ヘリコバクター属 教科書：p151-168、p176-190	松尾淳司

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
12	抗酸菌	・マイコバクテリウム属 ・ノカルジア属 教科書：p199-208	山崎智拡
13	その他の細菌	・バクテロイデス属 ・クロストリジウム属 ・トレポネーマ属、レプトスピラ属 ・マイコプラズマ属、ウレアプラズマ属 ・リケッチア属、クラミジア属 教科書：p211-252	山崎智拡
14	真菌	・酵母用真菌（カンジダ属、クリプトコックス属） ・糸状菌（アスペルギルス属、接合菌） ・二形性真菌 教科書：p253-284	松尾淳司
15	ウイルス	・DNAウイルス ・RNAウイルス ・プリオン 教科書：p285-319	山崎智拡

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（筆記試験） 100%

【教科書】

松本哲哉 編著「最新臨床検査学講座 臨床微生物学 第2版」 医歯薬出版 2024年

【参考書】

錫谷 達夫 他 編著「標準微生物学 第15版」 医学書院 2024年

【備考】

クリッカーを使用し、学生の理解度を把握する。

【学修の準備】

教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。（80分）

講義で学修した部分について理解しておくこと。（80分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

(DP4) 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に興味を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している